

本記事は、浜理Newsletter 2019 Vol.13から再掲しております

今回は、以下論文をご紹介します。

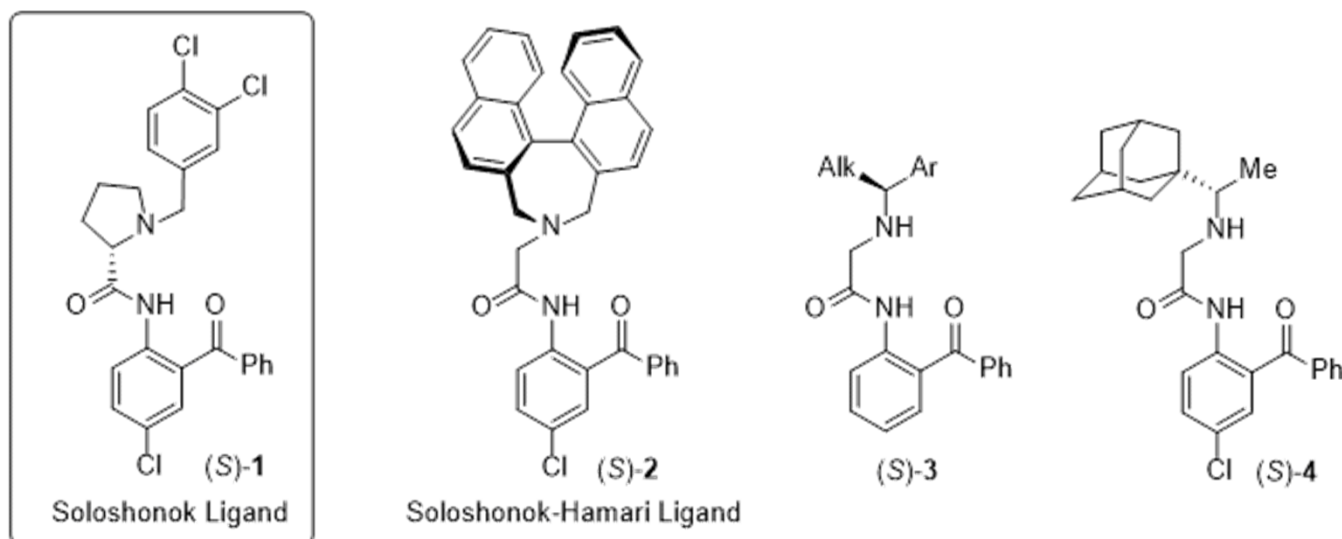
Fmoc-(S)-2-Amino-6,6,6-Trifluorohexanoic Acidの大量合成手法の開発に関するものです。

Large-Scale Asymmetric Synthesis of Fmoc-(S)-2-Amino-6,6,6-Trifluorohexanoic Acid,

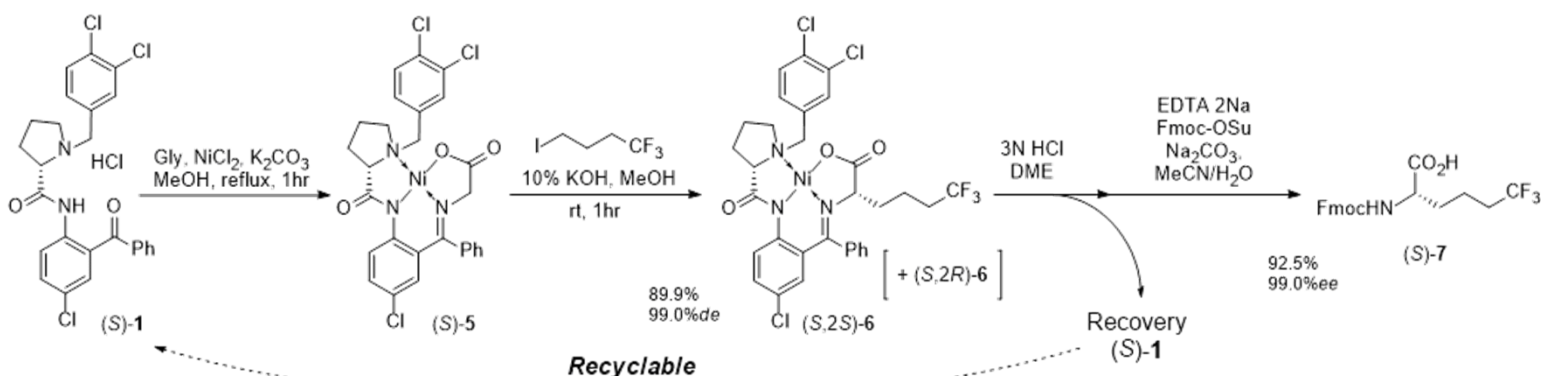
[ChemistryOpen, 2019, 8, 701-704.](#)

Convenient Asymmetric Synthesis of Fmoc-(S)-6,6,6-Trifluoro-Norleucine, [Symmetry, 2019, 11, 578.](#)

これまで弊社では、1~4に示すような新規光学活性リガンドを開発し、様々なテラーメイドα-アミノ酸合成に適応可能であることを明らかにしてきました。



従来合成したアミノ酸は、一番数量の多いものでもせいぜい数10 g程度でした。そのため、本技術が大容量スケールに適応できるものであることを示すまでには至っておりませんでした。そこで今回の報告では、末端にトリフルオロメチル基を有するアルキル鎖を側鎖とするアミノ酸誘導体 (S)-7に着目し、その大量合成法を検討しました。その結果、光学活性なリガンド (S)-1を用いて、アミノ酸誘導体 (S)-7を100 gスケールで合成することに成功し、本技術が将来的に数kgを超える大量合成へも適応可能であることを示しました。また、一連の合成の中で光学活性リガンド (S)-1は、単純なる過操作により容易に回収され、精製作業を必要とすることなくそのまま再利用できることから、本技術を用いることでテラーメイドアミノ酸を低コストで合成することが可能です。



本件に関するお問い合わせは下記まで



浜理薬品工業株式会社

営業開発部

〒541-0041 大阪市中央区北浜2-1-26 北浜松岡ビル6F

TEL 06-6205-7227 FAX 06-6205-7222

E-Mail : toiwase@hamari.co.jp